

コカ・コーラウエスト殿の九州エリア物流業務を引き受け

～ LC業務、DC業務、輸配送業務を5月1日から運営開始 ～

センコー(株) (本社・大阪市北区、以下、センコー) は、コカ・コーラウエスト(株)殿 (本社・福岡市東区、以下、CCW殿) の九州エリアの物流業務を引き受けることになり、今月、5月1日から基山・鳥栖・熊本・えびのの各ハブ拠点^{※1}におけるLC業務^{※2}、大分・鹿児島におけるDC業務^{※3}、輸配送業務^{※4}など、調達・生産・販売に係わる物流業務の全般を開始いたしました。

※1 ハブ拠点	CCW殿の生産工場(基山、鳥栖、熊本、えびの)
※2 LC業務	工場内物流業務(工場外部倉庫の物流・荷役業務も含む)
※3 DC業務	倉庫・在庫拠点での倉庫業務、配送業務(大分、鹿児島)
※4 輸配送業務	九州エリア内や九州エリアを発着する中国・関西などへの輸配送業務

これまで、CCW殿の物流業務は、子会社であるコカ・コーラウエストロジスティクス(株)殿 (以下、CCWL殿)、及び南九州アイディーシー(株)殿 (以下、IDC殿) が担当されていましたが、CCW殿が事業強化などの観点から物流機能・業務のアウトソーシングを決定され、当社が引き受けることとなりました。

なお、今回のCCW殿業務の売上高として、年間70億円を見込んでいます。

当社は、量販・小売り物流、メーカー物流などを全国で展開しており、また3PL会社として、工場内物流から物流センター業務、輸配送業務まで一貫して運営しています。

そうした当社のノウハウや、主力である輸配送業務の効率化が期待できることが評価され、当社が物流パートナーに選定されました。

当社の九州エリアでは、現在、食品などを中心にした共同物流、共同配送に注力しており、人材・車両・物流センターなど、当社グループの拠点勢力とCCW殿の物流拠点勢力の相乗効果を図りながら、業務効率化や更なる食品物流事業拡大により、サービスレベルの向上に取り組んでまいります。

以上